

年少だより

ほほえみ



担任　中村　孝枝

運動会にはたくさんの方のご参加とご協力、温かいご声援をありがとうございました。

つばめ組はほとんどの子が初めての運動会でした。観客の多さに圧倒され自分一人では活動が難しかった種目も保護者の方が一緒に参加してくださることで安心して体験することができました。ありがとうございました。

運動会ごっこでいろいろな種目を楽しむことはあっても、長い時間予行練習をするという経験はないので、つばめ組にとっては見通しがもてない長い半日だったと思います。途中で眠たくなってしまった子や家族の観客席に行ってしまった子、どこかに遊びに行ってしまった子もいましたね。そんな姿も微笑ましかったです。

つばめ組の「つりつり魚つりは」いかがでしたか？みんなで考えてきましたが、毎日取り組み方が違いルールも変わってきました。自分が提案したことが活動になったことは何よりの喜びだったと思います。

年長児を中心に年中児と作り上げた運動会はとても素敵でした。子どもたちは可能性の塊ですね。つばめ組もその背中を見、一緒に関わり、いろいろなことを心身で感じながら、数年先に自分達で進めていける力を育んでいけるように関わっていきたいと思っています。一歩一歩歩んでいくつばめ組の応援をこれからもよろしくお願いいたします。

10月の保育より

中学校の学習発表会や町民文化祭に参加しました

園で楽しんでいる曲を小・中学校の体育館で発表してきました。リハーサルの時には頑張っていたつばめ組でしたが、本番にはとても緊張していました。

町民文化祭に出展した自分の作品といろいろな作品を見学してきました。友だちが作品をさわろうとする姿に「さわると壊れちゃうよ」と声掛けする姿も見られ成長を感じました。

次は真鶴よさこいでジャンボリミッキーを踊ります。楽しく踊れるように支援していきます。

憧れる気持ちをもつ

年中児年長児の子どもたちがやっている遊びに興味をもつ姿も増えてきました。真似をして取り入れたり一緒に遊んだりする機会を増やしていきたいと思います。



11月のねらい

○友達と一緒に遊んだり、関わったりすることを楽しむ。

○いろいろな素材に触れ、自分なりに表現することを楽しむ。

11月の保育にむけて

一人一人の興味や関心が広がり、自分なりに取り組んだり、友達との関わりを楽しんだりするようになりました。遊びの場も2～4人くらいの友達同士で場を作ってブロックや、おうちごっこなどを展開しています。遊びに必要なものを作る中で、今まで経験してきたことをもとに、さまざまな材料にふれる機会を広げ表現する過程を大事にしていきたいと思います。

友達との関わりが多くなっている中で、自己主張もできるようになり、トラブルもさらに多くなりますが、自分の気持ちを相手に伝えたり、話を聞いて、相手の思いに気づくようにしたりして、ともに活動する楽しさを味わえるように仲立ちをしていきたいと思います。また、集中して話を聞くことの大切さもしっかりと伝えていきたいと思います。

